

スポーツ文化局 平成30年度 局運営方針

1. 主な現状と課題

少子高齢化の進行、価値観の変容と多様化、地域のつながりの希薄化、国際化の進展等、本市を取り巻く環境が急激に変化し、多くの課題を抱える現代社会においては、市民の健康増進や生きがいづくりに貢献し、地域に深い絆を形成することにも寄与するスポーツと文化芸術の果たす役割が、ますます重要なものとなっています。

平成32年の東京2020大会の開催に向けて、国内のスポーツに対する気運が高まっており、また、平成29年4月には、28年ぶりに世界盆栽大会が本市において開催され、本市の特色ある地域の文化芸術資源である盆栽を国内外に対してアピールしました。

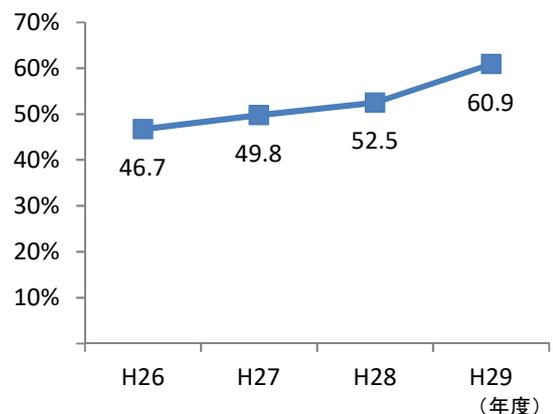
こうした背景のもと、スポーツ環境を整備することや、地域の文化芸術資源を活用すること等により、市民がスポーツや文化芸術に親しむ機会が増えることを通じて、生活にゆとりと潤いをもたらし、地域に活力を生み出すことが求められています。さらに、シンボリックな大会やイベントを開催すること等により、国内外に向けて市の魅力を発信し、地域経済の活性化にも寄与することで、スポーツや文化芸術を活用した健康で心豊かな活力あるまちづくりを推進する必要があります。

(1) スポーツ実施率の向上

市民（成人）の週1回以上のスポーツ実施率をみると、右のグラフのとおり上昇しています。

東京2020大会の開催が近づくにつれて、スポーツへの関心が高まりつつある中、スポーツ環境の整備とともに、市民参加型のスポーツイベントや教室等を開催することで、市民の自主的なスポーツ参加を促す必要があります。

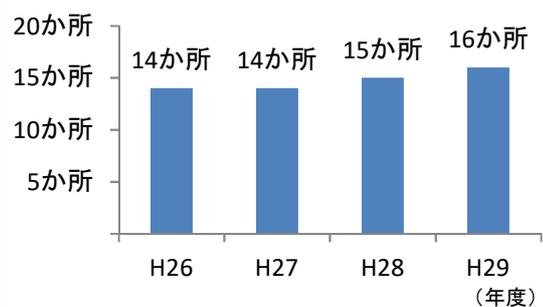
【市民（成人）の週1回以上スポーツ実施率推移】



(2) スポーツ環境の整備

市民が健康で心豊かな生活を送ることができるよう、身近な場所で気軽にスポーツを楽しむことができる多目的広場や（仮称）さいたまスポーツシュレの整備、体育館、武道館の修繕等、スポーツ環境の整備を進める必要があります。

【市有未利用地を活用した多目的広場の整備数（累計）】



(3) 「スポーツのまち さいたま」の実現
「スポーツのまち さいたま」の実現のため、国際女子マラソンと、市民参加のフルマラソン等を同時開催する「さいたま国際マラソン」や、世界最高峰の自転車ロードレース「ツール・ド・フランス」の名を冠したイベントの開催など、大規模スポーツイベントを開催することで、スポーツの振興はもとより、地域経済の活性化を図る必要があります。

また、平成31年9月に開催されるラグビーワールドカップ2019™大会に向け、市民のスポーツに対する関心を高め、「公認チームキャンプ地」として世界のトップチームを受け入れるための整備を進める必要があります。

さらに、「さいたまスポーツコミッション」の活動の充実・体制の強化と、「さいたまクリテリウム」の実施主体の民間団体等への移行を進める必要があります。

(4) 文化芸術都市の創造

「生き生きと心豊かに暮らせる文化芸術都市」を創造するために、「文化芸術都市創造計画」（平成26年3月策定）に基づく各種施策を総合的かつ計画的に実施するとともに同計画の重点プロジェクトであるさいたま国際芸術祭の2020年開催に向けた準備を進める必要があります。

また、市民会館おおみやの機能移転を実施し、文化会館機能、コミュニティ機能等を備えた新たな施設の整備を進める必要があります。

(5) 人形文化の振興

本市の特色ある地域資源である人形を活用し、人形文化の振興を図るとともに、観光振興等にも寄与するため、平成32年2月の開館に向け人形文化の拠点施設として岩槻人形博物館の整備を進めていく必要があります。



【ツール・ド・フランスさいたまクリテリウム】



【さいたま国際マラソン】



【文化芸術都市創造計画】



【岩槻人形博物館 外観イメージ】

(6) 盆栽文化の振興

本市の特色ある地域資源である盆栽を活用し、盆栽文化の振興を図るとともに、観光振興等への寄与、さいたま国際盆栽アカデミー事業のため、大宮盆栽美術館の運営の充実を図る必要があります。



【大宮盆栽美術館】

2. 基本方針・区分別主要事業

スポーツ環境を整備することや、地域の文化芸術資源を活用すること等により、市民がスポーツや文化芸術に親しむ機会を増やすとともに、シンボリックな大会やイベントを開催すること等により、都市としての魅力を高め、地域経済の活性化にも取り組むことで、健康で活力ある「スポーツのまち さいたま」の実現と、「生き生きと心豊かに暮らせる文化芸術都市」の創造を目指します。

(1) スポーツに親しむことができるよう、多彩なプログラムを提供します。

* ()内は一般財源

(単位:千円)

No.	区分	事業名	30年度	29年度	説明
1	新規 総振 成長 創生	女子スポーツ競技力向上事業 〔スポーツ振興課〕	700 (700)	0 (0)	市内の女子小・中学生を対象に、プロ・アマトップスポーツチームの選手・コーチ等の指導を受けられる機会を提供
2	拡大 総振 倍増 成長 創生	スポーツコミッション推進事業 〔スポーツ政策室〕	85,938 (85,938)	56,036 (56,036)	全国大会等の各種スポーツ大会の誘致支援やウォーキングイベントの開催等を実施する「さいたまスポーツコミッション」を支援するとともに、法人化を推進

(2) スポーツ・レクリエーション活動の場の充実を図ります。

* ()内は一般財源

(単位:千円)

No.	区分	事業名	30年度	29年度	説明
3	総振 成長 創生	多目的広場整備事業 〔スポーツ振興課〕	7,224 (7,219)	16,045 (6,145)	市有未利用地を活用したスポーツもできる多目的広場(1か所)の整備に着手
4	拡大 総振 成長 創生	スポーツシューレ整備事業 〔スポーツ政策室〕	4,963 (4,963)	3,888 (3,888)	新たな交流を創出するスポーツ拠点として「(仮称)さいたまスポーツシューレ」を開設

(3) 大規模イベントの開催等により、健康で活力ある「スポーツのまち さいたま」を目指します。

* ()内は一般財源

(単位:千円)

No.	区分	事業名	30年度	29年度	説明
5	新規 総振 創生	ラグビーワールドカップキャンプ地整備事業 〔スポーツ振興課〕	12,543 (12,543)	0 (0)	練習グラウンドの芝等の整備及びゴールポストの設置に係る費用の一部を補助

〔区分〕 新規 … 新規事業 拡大 … 拡大事業 総振 … 総合振興計画後期基本計画後期実施計画事業
 倍増 … しあわせ倍増プラン2017事業 成長 … 成長加速化戦略事業 創生 … まち・ひと・しごと創生総合戦略事業

*()内は一般財源

(単位:千円)

No.	区分	事業名	30年度	29年度	説明
6	総振 創生	さいたま国際マラソン 開催事業 〔スポーツイベント 課〕	260,264 (260,264)	270,264 (270,264)	フルマラソンを中心とした市民マラソンとオリンピック等の女子マラソン代表選手選考レースを併せた「さいたま国際マラソン」を開催
7	総振 成長 創生	国際自転車競技大会開 催事業 〔スポーツイベント 課〕	273,980 (273,980)	0 (0)	自転車を活用したまちづくりのシンボルとなる国際自転車競技大会「ツール・ド・フランスさいたまクリテリウム」の開催経費を補助

(4) 生き生きと心豊かに暮らせる文化芸術都市を創造します。

*()内は一般財源

(単位:千円)

No.	区分	事業名	30年度	29年度	説明
8	拡大 総振 倍増 成長	さいたま国際芸術祭開 催準備事業 〔国際芸術祭開催準備 室〕	21,400 (21,400)	0 (0)	さいたま国際芸術祭の開催(2020年予定)に向けて、開催計画及び広報戦略の策定経費を負担
9	拡大	(仮称)市民会館おお みや整備事業 〔文化振興課〕	4,065,876 (1,016,576)	0 (0)	大宮駅東口大門町2丁目中地区第一種市街地再開発事業に伴い、市民会館おおみやの機能を移転し、文化会館機能・コミュニティ機能等を備えた新たな施設を整備

(5) さいたま市の地域資源である人形を活用した施設の整備を図ります。

*()内は一般財源

(単位:千円)

No.	区分	事業名	30年度	29年度	説明
10	拡大 総振 倍増 成長	(仮称)岩槻人形博物 館整備事業 〔岩槻人形博物館開設 準備室〕	1,212,947 (202,647)	257,546 (85,246)	本市の特色ある人形文化の振興を図るため、日本人形を中心とした展示や講座などを実施するとともに、観光振興等にも寄与するため岩槻人形博物館を整備

(6) さいたま市の地域資源である盆栽を活用した施設の充実を図ります。

*()内は一般財源

(単位:千円)

No.	区分	事業名	30年度	29年度	説明
11	総振 倍増 成長 創生	大宮盆栽美術館管理運 営事業 〔大宮盆栽美術館〕	112,490 (86,084)	124,549 (92,899)	盆栽文化の振興・活用及び観光振興のための拠点施設として、盆栽及び盆栽文化に係る資料等の収集・展示等施設の運営を行うとともに、さいたま国際盆栽アカデミーのコースを拡充

〔区分〕新規…新規事業 拡大…拡大事業 総振…総合振興計画後期基本計画後期実施計画事業
 倍増…しあわせ倍増プラン2017事業 成長…成長加速化戦略事業 創生…まち・ひと・しごと創生総合戦略事業

3. 見直し事業一覧

(単位：千円)

課名	見直し事業名	見直しの理由及び内容 (代替事業等があれば記載)	コスト削減額
スポーツ振興課	一般事務・局内OA関係 消耗品費の縮小	近年の実績を勘案して、必要となる消耗品を精査し、予算額を縮小する。	△ 101
スポーツ振興課	修繕費の縮小	近年の実績を勘案して、学校体育施設開放事業に係る設備修繕について、予算額を縮小する。	△ 1,787
スポーツイベント課	負担金の縮小	大会組織委員会への負担金の見直しにより予算額を縮小する。	△ 10,000
文化振興課	市民文芸報償費の縮小	委員謝礼について、近年の実績を勘案して、予算額を縮小する。	△ 5
文化振興課	寄附感謝状筆耕料の縮小	寄附感謝状筆耕料について、過年度実績を勘案して、必要経費を見直すことで、予算額を縮小する。	△ 18
文化振興課	審議会・意見交換会 会場使用料の縮小	会場として使用する部屋、駐車場使用料、会場使用機材等を見直すことで、予算額を縮小する。	△ 98
文化振興課	印刷製本費の縮小	記録保存用写真プリント、イベント用チラシ等の印刷部数を見直すことで、予算額を縮小する。	△ 221
文化振興課	通信運搬費の縮小	電話料、郵送料等の通信運搬費について、過年度実績を勘案し必要経費を精査することで、予算額を縮小する。	△ 31
文化振興課	保険料の縮小	動産保険について、過年度実績から必要経費を見直すことで、予算額を縮小する。	△ 21
岩槻人形博物館開設準備室	印刷製本費の縮小	イベントのチラシ、ポスター等について、内容を見直すことで、印刷に係る予算額を縮小する。	△ 552
岩槻人形博物館開設準備室	報償費の縮小	開設準備委員会の開催時期等を見直すことにより予算額を縮小する。	△ 132
岩槻人形博物館開設準備室	消耗品の縮小	近年の実績を勘案して、必要となる消耗品を精査し、予算額を縮小する。	△ 152
岩槻人形博物館開設準備室	使用料の縮小	会場として使用する部屋、駐車場使用料、会場使用機材等を見直すことで、予算額を縮小する。	△ 40
大宮盆栽美術館	印刷製本費の縮小	美術館PR用のポスター、チラシの印刷部数等を見直すことで、予算額を縮小する。	△ 572
大宮盆栽美術館	光熱水費の縮小	近年の実績を勘案して、必要となる光熱水費を精査し、予算額を縮小する。	△ 504
大宮盆栽美術館	通信運搬費の縮小	近年の実績を勘案して、必要となる切手購入費等を精査し、予算額を縮小する。	△ 128
大宮盆栽美術館	手数料の縮小	近年の実績を勘案して、必要となる施設維持手数料等を精査し、予算額を縮小する。	△ 135
大宮盆栽美術館	委託料の縮小	盆栽管理業務委託につき、組織体制を強化することで、予算額を縮小する。	△ 5,000
大宮盆栽美術館	使用料の縮小	近年の実績を勘案して、周辺施設とのシャトルバス借上台数や借用資料等を精査し、予算額を縮小する。	△ 1,621
大宮盆栽美術館	賃借料の縮小	賃借する機器類を精査することで、予算額を縮小する。	△ 60